

令和4年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会
荻窪りとるばんぷきんず
2023年3月31日

園は常に質の高い保育が求められている。

そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部改善を要する
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	保育所保育指針をもとに保育の計画を作成している。今年度の組織のテーマとして『笑顔と感謝～目でも口でも物を言う～』を掲げ、職員と話し合いを重ねながら、より良い保育の実践を目指している。各年齢の発達段階を踏まえ、会議等で個や集団としての育ちを共有している。 職員は自身で決めた目標と園が示した課題に取り組み、自己研鑽に努めている。
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	子どもの発達や家庭状況などを理解し、コロナ禍においても成長を促すことができるように、感染症予防にも努めながら保育を行っている。 子どもが主体的に活動に参加できるように、選択活動を取り入れながら多彩な活動を行っている。 また、発達に合わせた環境を整備している。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3, 園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	法人研修・園内研修などを実施し、職員の専門性・人間性の向上を目指して取り組んでいる。 火災・地震・不審者侵入・洪水など、さまざまな場面を想定した訓練を実施している。リスク会議を毎月行い、事故報告や事例検討を通して、危機管理についての意識を高めている。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	登降園管理システムを使っての保護者とのやり取りや、送迎時の細かな連携をおこなっている。LINE ビジネスを活用し、子育て講座等の案内やほけんだよりを配信している。小中高生ボランティアの受け入れも実施している。児童館や子育てネットワーク会議など、関係機関や地域との連携を深めている。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	守秘義務について、職員研修で共有している。会計は複数で確認している。
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	登降園管理システムで園だより等を配信し、園での活動の様子はブログや連絡帳でお知らせしている。
-----------------------------------------	---	------------------------------------------------